

委員および一般からの意見

委員からの流域委員会の審議に関するご意見、ご指摘（2001/10/5～2001/12/12）

委員からのご意見、ご指摘はありませんでした。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2001/10/5～2001/12/12）

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
1	環境にやさしい街づくり推進会 菅野敬氏	第5猪	9/10 (10/11)	（猪名川部会長（米山委員）あてに質問書が届きました。） 別紙1をご参照下さい。 回答については、第5回猪名川部会(10/9)にて検討を行い、10/11に回答書をお送りしました。別紙2をご参照下さい。
2	エコ・カーライフ創出塾 谷口隆捷氏	×	10/9	<緊急提言> 既報（13.10.5 京都新聞）の通り、近畿地方整備局が「蹴上インクライン」再稼働を含む、疎水舟運復活（イベント）を検討している、とのこと。これこそ、淀川水系にとっての <u>今世紀最大のイベントではないか</u> 。何も「水フォーラム」（フォーラムばかりで大した成果は関係者以外ないが）を待たずに、即刻取り組み、多くの一般参加者（老人から子供まで）を混えてチエと汗を結集させ実現してゆく中から、真に市民（住民）に役立つ施策が自ずと生まれてくるものと思われる。そしてできれば、大きな観点からの事業（思考）とみなし、必要なら多くの雇用も創出し、真の公共（プロジェクト）投資として、世界に提示すべきときだと考える。（抽象的レポートを観念的にいくら積み重ねてもそれこそムダだと考える。）
3	京都クマタカ研究会 中村桂子氏	×	10/10	第4回委員会、ある委員の発言について クマタカに限らずあらゆる生き物の生息を決定づけているものは、そこで暮らせる否か、すなわち食べ物があり、子育てできる環境が整っているかどうかではないかと思われます。 したがって、クマタカが暮らせる環境が整っているところには、既にクマタカが縄張りをもって暮らしており、ひとつ（1ペア）の生息場所（生息環境）が失われれば、1ペアが暮らせなくなるのであり、それは個体数の減少であります。羽根があるからといって簡単に他の場所へ移ることなどできないのです。簡単に言えば、自分の縄張りがダメになれば、他のペアの縄張りを奪い取るしかありません。実際は短期間に1ペアの行動圏が完全になくなるような環境変化というのは少ないので、ジワジワと隣接個体と攻防を繰り返し、力の強いペアが他のペアを追い出したりして生息密度が低下するものと思われます。 淀川水系や琵琶湖に注がれる主要河川の山間部の流域には、ほぼ全てにクマタカが生息しています。しかし、どの河川にも大規模なダムが建設されたり、流域の森林の人工林化、森林の活用の変化などにより、水系および水系を取り巻く環境が著しく変化しています。それに伴いクマタカの正常な暮らしができなくなってきています。 餌動物の減少や、獲物を狩ることのできる環境が減少し、子育てをしないこと

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
				<p>が多くなってきています（繁殖成功率が低下しています）。</p> <p>しかし、クマタカは新天地を求めて飛んでいくことはありません。</p> <p>こうした状況が長期間続くと世代交代ができず、これらの地域個体群の生息密度が低下、すなわち生息個体数が減少することになるでしょう。</p> <p>長年にわたって築かれた淀川水系の生態系には、クマタカもその一員であり、言い換えればクマタカなどの猛禽類は水系の健全さを示す指標のひとつであると考えられます。水系の貴重性については、こうした視点で評価すべきと考えます。</p>
4	坂本氏	×	10/22	<p>情報提供のための「メールマガジン」、情報、意志収集のための「掲示板」等の設置予定は無いのですか。</p>
5	奈良市情報 公開をすす める会 福 井隆夫氏	×	10/23	<p>私達木津川流域一帯の市民は木津川の水質に重大関心を持っています。そこで今後継続して研究して頂く為独立の部会を設けるか、分科会にするかをご検討願います。</p>
6	大阪自然環 境保全協会 岡秀郎氏	×	11/15 (11/21)	<p>大阪自然環境保全協会事務局長の岡秀郎です。</p> <p>私は第3回淀川部会で発言し、淀川河川公園基本計画・事業計画（事業費も含めて）の提出を要請しましたが、いまだに提出されていません。どういことなのでしょうか。</p> <p>一般の意見を受け入れるという姿勢を謳っておきながら、対応ができていない。もっと真摯に対応して頂きたい。</p> <p>第3回猪名川部会（現地視察）の資料閲覧のために、岡氏が庶務におみえになったので、その際に下記の事項をお伝えしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回淀川部会で河川管理者が「淀川河川公園の基本構想は現在見直し中であり、フォローアップ委員会が開催されている。その経過については随時流域委員会に情報公開したい」と発言していること ・第8回淀川部会では、フォローアップ委員会の提言が資料として配付されたこと
7	渡辺氏	×	11/30	<p>第2永源寺ダムについて</p> <p>淀川水系流域委員会の活動は、丹生ダムに関して調べている中で丹生ダム建設所からの案内で知りました。大変素晴らしい活動と思いました。</p> <p>私は11年前に京都から滋賀県に移り、以前から趣味にしていた沢登りや溪流釣りを楽しむために滋賀県内の溪流・源流に通っています。このような趣味のため、河川工事や特にダム建設に大きな関心や疑問を抱いております。</p> <p>現在最も関心を持っているのは愛知川源流の第2永源寺ダムの建設です。貴委員会の活動の中で、この第2永源寺ダムに関する取り組みは行われているのでしょうか。</p> <p>何か情報をお持ちでしたら、お教え願いますでしょうか。</p>
8	桂捨三郎氏	×	12/8	<p>私たち老人は桂川で毎日釣りを楽しみにしています。</p> <p>川は段々良く成っている様に思いますが、三年前位から、桂川大橋の上流東側の島にヌトリア - が住んで繁殖して5 - 6匹になった様に思います。</p>

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				最近は水際に生えている葦と言うのか草を根こそぎ食べるのか酷いものです、 放置すれば環境に悪いと思ひましてご相談まで相当荒れています。
9	大阪自然環 境保全協会 岡秀郎氏	第 10 淀	12/12	「『淀川水系河川整備計画』において、国土交通省・余野川ダム建設などの同 ダム事業を中止とする意見表明の要請」を受取りました。 別紙 3 をご参照下さい。